

施策評価管理シート

2023(令和5)年6月作成

施策体系	政策	1	支え合い 健康でいきいきと暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	3	地域福祉の充実		
	施策	2	障害者福祉	福祉子ども部	岩本 靖之

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 人権尊重に根ざした障害者の主体性と自立性の確立を推進します。
- 全ての市民が安心して平等に暮らせる地域社会づくりを目指します。
- 市民全員参加によるノーマライゼーションの実現に努めます。

2. 令和4年度の実施内容及びその成果



・名張市障害者施策推進協議会及び名張市共生地域デザイン会議において、「第五次障害者福祉計画」、「第6期障害福祉計画」の成果目標に掲げた「福祉施設の入所者の地域生活への移行」や「福祉施設から一般就労への移行等」の進捗確認と検証を行いました。また、これらの取組は、次期計画に反映できるよう、それぞれの検討会議にて確認作業を行いました。

・障害者理解の促進としては名張市地域共生デザイン会議の企画で、令和2年度に啓発用DVDを作成、令和3年度からは気軽に視聴できるよう市公式YouTubeにて配信しております。令和4年度は「僕が飛び跳ねる理由」という自閉症をテーマとした映画の上映会と、障害福祉に関連する事業所による軽トラ市も同時開催し、直接的に多くの市民の方々を知っていただく機会を提供しました。これまでと違う企画で、福祉関係以外の一般市民の方々も多く来庁され、好評であったことが当日アンケート結果から読み取れました。

・障害者の就労支援においては、障害者人材センターや福祉的就労の中から19人の方々を一般企業の障害者雇用へ繋げ、あわせて、障害者人材センターの取組から14人を就労継続支援A型の支援につなげることができました。

また、名張市アグリ雇用推進協議会では、みはたメイハンド内の「名張市めばえファーム」において、福祉サービスの利用対象者以外の方や、就労につなげることが困難な方の、農福連携の農業体験や居場所として参加支援を行うことができました。

・基幹相談支援センターでは、一般相談も含めた、総合的・専門的相談や困難事例に対応し、事例に応じて各部署や関係機関と協働しながら、相談者への伴走型支援を行いました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	達成率
障害者に対する住民の理解が進んでいるとする市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	58.0	0.0%
	成果	54.0	52.5	54.2	57.8	55.5	53.5	
地域で自立した生活につながった障害者の数【延べ数】(人)	目標	-	-	-	-	-	102	100.0%
	成果	89	90	94	95	118	126	
就労につながった障害者の数【延べ数】(人)	目標	-	-	-	-	-	103	100.0%
	成果	44	50	57	77	96	115	

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



・障害者理解の促進や共生社会に向けて様々な啓発に優先的に取り組んでいますが、市民意識調査の「障害者に対する住民の理解が進んでいるとする市民の割合」の数値が、令和2年度の57.8%を境に下がっています。市民意識調査の結果からは、30歳代の市民の関心が低くなっていることも見えてきましたが、昨年度に映画会を実施したように、新たなツールを活用し、一定の成果が出るよう障害や障害者理解の啓発に取り組む必要があります。

・住み慣れた地域で自立した生活を支援するためには、障害福祉サービス等の拡充と福祉人材の確保が課題となっています。また、自立した生活を支えるために、就労継続支援サービスや一般就労の障害雇用へ繋ぐ等、障害者の特性に応じた就労へのマッチングが必要です。併せて、就労につないだ後の就労継続・就労定着の支援が重要となります。

・複雑化する多様なニーズに関して、現行法令では対応が困難な事例も多く、相談員の個々のスキルアップや関係機関との横断的な連携が益々求められています。

・障害者への権利擁護・虐待防止の観点からの通報事案が令和3年度実績14件から令和4年度実績22件へと増加しています。特に事業所や福祉施設の発生事案に対応する中では、当事者や周りを取り巻く方々の法や趣旨等への理解が浸透していない例も多く、人材不足で施設職員が疲弊している現状も見受けられることから、事業所等の管理者への情報共有と啓発を行う必要があります。

5. 分析結果を踏まえた新総合計画推進に向けた施策の実施内容(令和5年度以降)



・「福祉施設の入所者の地域生活への移行」や「福祉施設から一般就労への移行」等、障害福祉計画の目標達成や、障害者福祉計画の計画推進に向け、関係機関と連携を図るとともに、検証・評価にも取り組みます。

・地域における障害福祉サービス等の充実に向け、国・県の補助金を活用し、グループホーム等の新設を支援します。

・今後も新たな市民層への啓発に繋がる理解啓発の取組を継続するとともに、効果的な取組について、関係機関と検討していきます。

・障害者・高齢者・ひきこもり等の様々な人が生きがいを持って社会参加ができる仕組みとしての「名張市めばえファーム」における農福連携の取組を、福祉サービスを受けるまでの第一歩の取組として、当事者に受け入れてもらえるよう事業を推進します。

・近年、複雑化する多様なニーズを有する困難な相談も増加していることから、個々のスキルアップや関係機関との連携が必要となってきます。自立支援協議会等での研修会などを通じて個々の職員のスキルアップを図るとともに、職員間で個々が持っている技能や知識を相互理解し、他機関連携と横断的な対応によりニーズの多様化に対応して支援の充実を図ります。

施策を構成する主な事務事業

*R4決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和4年度内容	R4決算額	うち一般財源
一般	障害者医療助成事業	市民部	保険年金室	心身障害者の方に保険診療の自己負担相当額の全額又は2分の1を助成しました。 ・心身障害者の自己負担医療費助成 県補助対象分 26,885件、市上乗せ負担分 20,620件 ・65歳以上重度障害者の医療費助成 県補助対象分 28,458件、市上乗せ負担分 22件 ・証明手数料 42,295件	211,156	123,197
一般	参加支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	名張市障害者アグリ雇用推進協議会が管理するみはたメイハンランド内名張市めばえファームにおいての農業体験や市庁舎でのロビー販売等の事業にて、障害者等の社会参加の機会を増やすとともに、ジョブトレーナーが利用者に寄り添い支援を行いました。	4,771	1,193
一般	タクシー料金・自動車燃料費助成	福祉子ども部	障害福祉室	重度障害者の社会参加促進のため、タクシー料金及び自動車燃料費の一部を助成しました。 ・タクシー料金助成 利用者 505人 ・自動車燃料費助成 利用者 403人	8,203	8,203
一般	福祉手当給付事業	福祉子ども部	障害福祉室	重度の障害がある障害児に障害児福祉手当を給付するとともに、著しく重度の障害がある者に特別障害者手当を給付しました。 ・特別障害者手当 28,646千円 ・障害児福祉手当 7,383千円	36,029	9,007
一般	介護給付費等	福祉子ども部	障害福祉室	居宅介護、療養介護、生活介護、児童デイサービス、短期入所、共同生活介護、施設入所支援に必要な給付費を支給しました。	1,155,762	288,941
一般	訓練等給付費	福祉子ども部	障害福祉室	自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、共同生活介護に必要な給付費を支給しました。	640,078	160,060
一般	自立支援医療費	福祉子ども部	障害福祉室	身体障害者・障害児、精神障害者が心身の障害を除去・軽減すること等を目的とした医療費を支給しました。 ・更正医療支給 1,150件 ・育成医療支給 82件	56,343	14,126
一般	補装具費	福祉子ども部	障害福祉室	在宅の身体障害者に対し、補装具を給付・修理することで、身体機能をカバーし、日常生活の向上を支援しました。 ・利用件数 123件	10,039	2,509
一般	療養介護医療費	福祉子ども部	障害福祉室	常時医療と介護を要する者につき、病院において行われる機能訓練、療養上の管理、看護、医療管理の下における介護及び日常生活上の支援を行いました。また、療養介護のうち、医療に係るものを療養介護医療として提供しました。 ・利用者 9人	6,386	2,261
一般	意思疎通支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	手話通訳者の配置及び派遣、手話通訳・要約筆記の研修の開催、点訳・音訳奉仕員養成講座の開催等により、聴覚障害者等の日常生活の便宜と社会参加促進に取り組みました。 ・手話通訳者派遣回数 122回 ・要約筆記者派遣回数 3回 ・手話奉仕員養成講座 53講座 ・点訳奉仕員等養成講座 点訳ボランティア養成講習会（応用）3回	4,025	2,776
一般	日常生活用具給付事業	福祉子ども部	障害福祉室	在宅の重度身体障害者及び重度知的障害者・障害児に、日常生活用具を支給することにより日常生活の支援を行いました。 ・利用件数 1,759件	19,674	12,297
一般	移動支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	障害者・障害児がその能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、屋外での移動が困難な障害者等に対して、外出支援を行いました。 ・対象事業所 14事業所 ・利用者 105人	17,747	11,092

施策を構成する主な事務事業

*R4決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和4年度内容	R4決算額	うち一般財源
一般	地域活動支援センター事業	福祉子ども部	障害福祉室	障害者・障害児が、その能力に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動、生産活動の機会提供及び日中における活動の場を確保しました。 ・地域活動支援センター事業 事業所名 和 利用者 10人 事業所名 りぼん 利用者 16人	5,600	5,600
一般	社会参加促進事業	福祉子ども部	障害福祉室	障害者が気軽に参加できる各種事業を委託開催することにより、障害者の社会参加を促進しました。あわせて、自動車改造・操作訓練助成費として補助することで障害者の社会参加の支援を行いました。	1,404	1,119
一般	日中一時支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	日中において監護する者が不在で、一時的に見守り等の支援が必要な障害者の活動の場を確保し、家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な休息の確保支援を行いました。 ・日中一時支援事業 18事業所 ・利用者 227人	25,320	15,825
一般	障害者虐待防止対策支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	養護者、障害者福祉施策従事者、使用者等による障害者の虐待に関する通報を受け、障害者の保護、養護者に対する適切な支援や障害者虐待の予防及び早期発見、防止のための啓発を行いました。	2,240	560
一般	地域移行のための安心生活支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	障害者・障害児の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を地域の実情に応じた創意工夫により「地域生活支援拠点」として整備し、障害者・障害児の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築しました。 ・コーディネーター配置 2人	6,296	1,574
一般	障害者相談支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	障害者等の福祉に関する問題について、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、その他の障害福祉サービスの利用支援等を行いました。また、名張市共生地域デザイン会議（自立支援協議会）を運営し、中立・公平な相談支援事業の実施のほか、地域の関係機関との連携強化を推進しました。 ・相談支援事業負担金 2人分 ・計画相談支援（サテライト）事業委託 2法人3事業所 ・計画相談事業 760件	24,477	12,165
一般	地域活動支援センター事業（重層的支援体制整備事業）	福祉子ども部	障害福祉室	障害者・障害児がその能力及び適性に応じ、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図りました。 ・地域活動支援センター事業（重層的支援体制整備事業） 事業所名 ひびき 利用者 51人	6,033	1,833
一般	障害児通所支援事業	福祉子ども部	障害福祉室	児童発達支援、放課後デイサービスなどに必要となる給付費を支給しました。 ・児童発達支援 40,490千円 ・放課後等デイサービス 222,778千円 ・保育所等訪問 6,336千円 ・障害児相談支援 14,446千円	284,795	71,568
一般	障害者相談支援事業（発達障害分）	福祉子ども部	子ども発達支援センター	子どもの発達を心配する家族からの相談に対応し、適切な支援につなげる初期相談機能を確保するため、言語聴覚士等専門職を配置している社会福祉法人に事業を委託し、初期相談の段階で家族に対して療育の理解を促し、円滑に専門相談ができる体制を確保しました。 発達支援に係る言語聴覚士等専門職による専門相談の実施 ・相談支援施設開設 243日 ・相談支援等件数 460件	5,000	0